



## まちづくりの方針

私たちは「独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち」をめざします

### 基本施策

## 地域の個性を守り、活かし、伝えます

A1

### 個別施策

- A1-1 歴史文化遺産を市民の誇りとして保存・継承し、有効活用を図ります
- A1-2 歴史文化に対する市民意識を高め、その魅力を発信します
- A1-3 地域の景観や自然などの個性を守り、みがき、活かします

### 基本施策

## 交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくりを進めます

A2

### 個別施策

- A2-1 観光資源を磨き、魅力あるコンテンツを創造します
- A2-2 戦略的な魅力発信と誘致活動を推進します
- A2-3 交流のための都市機能を高め、安全安心・快適な滞在環境づくりを推進します
- A2-4 観光・MICE関連産業を活性化します

### 基本施策

## 国際性を豊かにします

A3

### 個別施策

- A3-1 国際交流・国際理解の機会の充実を図ります
- A3-2 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを進めます
- A3-3 留学先としての質の向上を図り、魅力を高めます

基本計画で定めた各種施策を達成するための具体的な事業計画を示した「実施計画書」はこちら



# A1 地域の個性を守り、活かし、伝えます

文化財課

## 2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
歴史文化遺産・景観・自然が	かけがえのない個性として、地域の中で大切に守られ、活かされ、伝えられている。

## めざす姿を達成するための個別施策

- A1-1 歴史文化遺産を市民の誇りとして保存・継承し、有効活用を図ります
- A1-2 歴史文化に対する市民意識を高め、その魅力を発信します
- A1-3 地域の景観や自然などの個性を守り、みがき、活かします

## 成果指標

成果指標	基準値	目標値
文化財の指定等件数[累計]	<b>254件</b> (R 2年度)	<b>257件</b> (R 7年度)
主要な歴史文化施設を訪れたことがある市民の割合	<b>66.5%</b> (R 2年度)	<b>69.0%</b> (R 7年度)
長崎の街並みや景観に誇りを感じる市民の割合	<b>89.0%</b> (R 2年度)	<b>90.0%</b> (R 7年度)

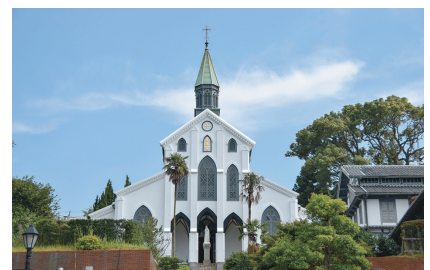
## 関連するSDGs



国宝崇福寺第一峰門



明治日本の産業革命遺産（端島炭坑）

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産  
(国宝大浦天主堂)

2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
歴史文化遺産が	適切に保存継承され、広く公開・活用が図られている。

現状分析と取組方針

I うまくいっていること、強み、チャンス

- うまくいっていること** ● 2つの世界遺産\*登録により、歴史文化遺産保全の機運が高まり、文化財の保存整備が進んでいる。
- 強み** ● 歴史が生んだ多様で多くの文化財がある。
- チャンス** ● 出島メッセ長崎\*及び西九州新幹線の開業により交流が拡大し、ユニークベニュー\*など文化財の更なる活用が見込まれる。

II うまくいっていないこと、弱み、脅威

- うまくいっていないこと** ● 文化財の保存整備には多くの財源と技術者を要するため、保存整備を行うべき物件のすべてに着手できていない。  
● 文化財によっては活用方法が限定され、市民や来訪者のニーズと合致していないものがある。
- 弱み** ● 老朽化により傷んだ文化財が多い。
- 脅威** ● 地域における少子高齢化等により伝統芸能など無形の文化財において後継者が不足している。  
● 所有者の高齢化等により、文化財の保存整備が困難となっているものがある。



III 取組方針

- ①文化財の指定等の推進**
  - 多様で多くの文化財を適切に保護するため、指定等を推進します。
- ②文化財の保存整備・活用**
  - 洋館などの有形文化財、出島などの史跡及び世界遺産の構成資産等を地域で継承していくため、保存整備を計画的に行うとともに、保存整備に係る知識や技術を習得するための機会をつくります。
  - 歴史文化遺産の活用にあたっては、その特性・価値を活かしながら、広く民間と連携・協力し、より魅力的で効果的な企画・運営等を進めます。
  - 地域独自の伝統や文化を継承するため、後継者の育成を支援し、伝統芸能など無形の文化財の保存を図ります。

\* 2つの世界遺産

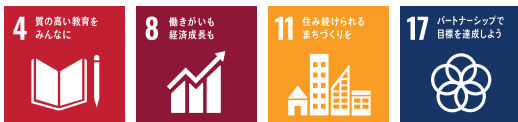
「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」、 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のこと。長崎市は1つの都市で2つの世界遺産を有する唯一の自治体である。

\* 出島メッセ長崎（参照 P23）

\* ユニークベニュー

歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。

## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市文化財保護条例
- 出島条例
- 包括的保存計画
- 長崎市歴史文化基本構想
- 国指定史跡「出島和蘭商館跡」保存活用計画
- 長崎市景観計画
- 長崎市歴史的風致維持向上計画
- 世界遺産推薦書
- 個別保存活用計画
- 管理保全計画
- 修復・整備活用計画
- 史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画



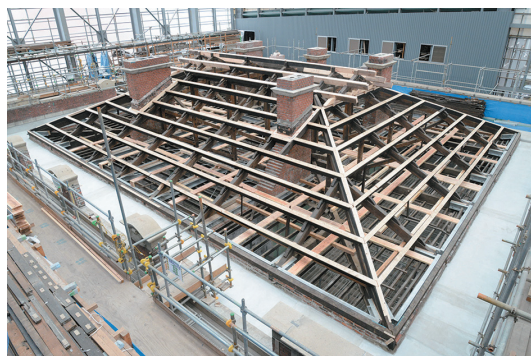
国指定重要文化財眼鏡橋



保存修理後の国指定重要文化財旧グラバー住宅



出島表門橋



国指定重要文化財旧長崎英国領事館の保存修理

個別施策  
A1-2

## 歴史文化に対する市民意識を高め、その魅力を発信します

文化財課

## 2025年度にめざす姿（なが、どうなっている）

対 象	意 図
長崎の歴史文化が	市民に学ばれ、親しまれ、国内外に発信されている。

## 現状分析と取組方針

## I うまくいっていること、強み、チャンス

## うまくいっていること

- 長崎の歴史を学びたいという市民ニーズに応えるために「ながさき歴史の学校\*」を開講し、市民の学びの場を提供できている。
- 長崎学ネットワーク会議\*において、民間団体等との連携が図られている。

## 強み

- 多くの歴史文化資料と情報の拠点となる博物館や資料館等がある。
- 日本全国で唯一、1つの自治体内で2つの世界遺産\*をもつ。

## チャンス

- インターネットやSNS\*の普及により、歴史文化の魅力や価値を人々や行政が発信することが容易になっている。

## II うまくいっていないこと、弱み、脅威

## うまくいっていないこと

- 効果的な情報発信や常設展示の見直しが十分でないため、歴史文化施設の入館者数が減少傾向にある。
- 2つの世界遺産があるまちであることをはじめ、長崎の歴史文化を積極的にPRできていない。



## III 取組方針

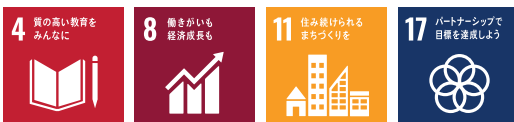
## ①歴史文化の情報発信・理解促進

- 歴史文化を学び、親しむことができるよう、講座内容の充実に心がけて「ながさき歴史の学校」を運営します。
- 民間の歴史研究団体等と連携し、長崎学の調査研究を推進します。
- 2つの世界遺産があるまちとしての認知度を高め、世界遺産価値の理解促進を図ります。
- 子どもから大人まで幅広い世代が楽しみながら、長崎の歴史文化を学ぶことができる仕組みをつくりまします。

## ②歴史文化施設における展示・公開の充実

- 長崎の歴史文化に触れる機会をつくり、理解促進を図るため、歴史文化博物館、歴史民俗資料館等において充実した展示・公開を行います。
- 展示・公開にあたっては、多言語を含む丁寧な案内表示と情報提供に努めます。

## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市歴史文化基本構想
- 長崎市歴史的風致維持向上計画
- 世界遺産推薦書
- 包括的保存計画
- 個別保存管理整備活用等計画



ながさき歴史の学校講座



長崎（小島）養生所跡資料館

## \* ながさき歴史の学校

長崎の歴史について、誰もが気軽に学べ、お互いに教え合うことができる学びの場として平成27年度に開校し、「長崎学」「世界遺産」「文化財」等に関する講座を実施している。

## \* 長崎学ネットワーク会議

長崎学研究所を事務局として大学、博物館、歴史研究団体、長崎県などにより構築されたネットワーク。各団体間の連携と協働による長崎学の振興を目的としている。

## \* 2つの世界遺産（参照 P47）

\* SNS（参照 P16）

2025年度にめざす姿（ななが、どうなっている）

対 象	意 図
景観や自然など地域の個性が	守られ、みがかれ、活かされている。

現状分析と取組方針

I うまくいっていること、強み、チャンス

- うまくいっていること
- ながさきデザイン会議\*のアドバイスにより、大規模建築物や工作物のデザインが向上し、良好なまちなみ形成につながっている。
  - 景観専門監\*の配置により、公共施設を中心に良好な景観づくりが進んでいる。
  - 遠景及び中・近景の夜景整備が進み、夜間景観の魅力向上に繋がっている。
  - 長崎市歴史的風致維持向上計画が国の認定を受け、東山手・南山手地区において、官民共同の歴史まちづくり計画を策定した。

II うまくいっていないこと、弱み、脅威

- うまくいっていないこと
- 市民の景観に関する意識醸成は一定図られているが、指導を要する場合がある。
  - 職員の景観に関する意識醸成は一定図られているが十分ではない。
  - 条例違反となっている屋外広告物について一定改善はしているが、指導は継続していく必要がある。



III 取組方針

① 良好な景観形成に係る助言・指導

- 良好な景観形成に関して、景観法に基づく景観計画の適切な運用のため、景観条例や屋外広告物条例による助言・指導を行います。

② 公共空間のデザイン向上

- 景観専門監やながさきデザイン会議などによる助言・指導のほか、職員の景観に関する研修を行います。また、景観に配慮した都市サインの適切な整備と維持を行うことで、公共空間のデザイン向上を図ります。

③ 地域の魅力向上

- 地域の自然や風土を活かしたまちの魅力向上と、「長崎独自の歴史や伝統を反映した人々の営みと一体となって形成された良好な市街地の環境」いわゆる歴史的風致をみがき活かしていきます。

関連するSDGs



関連する計画等

- 長崎市景観条例
- 長崎市景観基本計画
- 長崎市景観計画
- 長崎市歴史文化基本構想
- 長崎市歴史的風致維持向上計画
- 環長崎港夜間景観向上基本計画
- 長崎駅周辺エリアデザイン指針
- 長崎市屋外広告物条例



中・近景の夜間景観づくり

\* ながさきデザイン会議

公共施設及び大規模な建築物等が地域の特徴を活かした質の高い景観デザインとなるように意見を聞くための有識者による会議。

\* 景観専門監

公共施設の総合的なデザイン調整、研修や職員とのフィールドワーク等を通じて良好な景観形成に関する職員の意識と技術の向上を目的とした助言を行う学識経験者。

# 交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくり\*を進めます

観光政策課

## 2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
訪問客・事業者・市民が	交流を通して、ともに満足している。

## めざす姿を達成するための個別施策

- A2-1 観光資源を磨き、魅力あるコンテンツ\*を創造します
- A2-2 戦略的な魅力発信と誘致活動を推進します
- A2-3 交流のための都市機能を高め、安全安心・快適な滞在環境づくりを推進します
- A2-4 観光・M I C E \*関連産業を活性化します

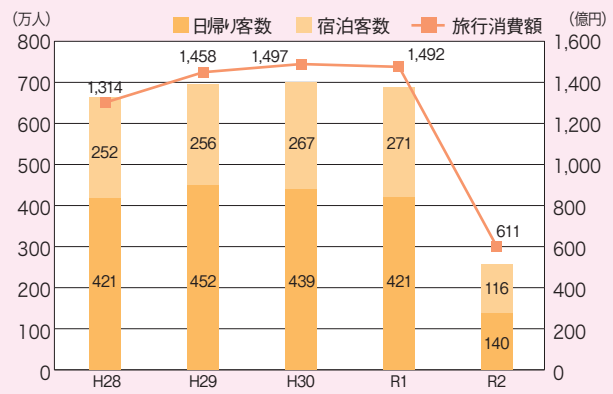
## 成果指標

成果指標	基準値	目標値
旅行消費額[暦年]	1,492億円 (R元年)	1,604億円 (R7年)
M I C E 消費額[暦年]	56億円 (R元年)	194億円 (R7年)
訪問客の満足度	91.9% (R元年度)	94.0% (R7年度)
事業者の満足度	33.3% (R3年度)	40.0% (R7年度)
市民の満足度	70.5% (R2年度)	80.0% (R7年度)

## 関連するSDGs



訪問客数及び旅行消費額の推移



資料：長崎市観光統計

\* 観光まちづくり (参照 P23)  
 \* コンテンツ  
 観光の目的となる商品(モノ・サービス)のこと。  
 \* M I C E (参照 P20)

## 2025年度にめざす姿（なにか、どうなっている）

対 象	意 図
観光資源が	磨かれ、魅力あるコンテンツとして活用されている。

## 現状分析と取組方針

### I うまくいっていること、強み、チャンス

**うまくいっていること** ● まちなか軸\*を中心とした各エリアの魅力の顕在化や新たな魅力の創出が進んでいる。

**強み**

- 特徴ある歴史・文化を有する観光施設や文化財などが豊富である。
- 食の美味しさに関する満足度は高い。
- 2つの世界遺産\*や世界・日本新三大夜景\*の魅力がある。

**チャンス**

- 西九州新幹線の開業や松が枝国際観光船埠頭の2バース化\*への動きなどの『『100年に一度』のまちの変革』が進んでいる。

### II うまくいっていないこと、弱み、脅威

**うまくいっていないこと**

- 顧客ニーズに対応した資源磨きと活用、魅力あるコンテンツづくりが不十分である。
- 地域の食文化を体験するなど、食を活かした魅力づくりができていない。
- 出島メッセ長崎\*やスタジアム施設が稼働するにあたり、今後、スポーツや文化・芸術などを活かした取組みが魅力あるコンテンツとなる可能性があるが、それらを魅力的にする取組みが不十分である。



### III 取組方針

#### ① 長崎独自の歴史・文化、景観の活用

- 整備活用計画などに基づき、2つの世界遺産の活用を図ります。
- 歴史文化基本構想等を踏まえ、歴史的風致維持向上計画などに沿って、歴史的建造物等の活用を図ります。
- 夜景の魅力向上及び鑑賞メニューの充実を図ります。

#### ② 多様な分野における魅力の創出

- テーマ性を持たせた体験型コンテンツの充実や滞在型の新しい旅のスタイルを創造します。
- 食と体験を組み合わせたコンテンツの造成など食を活かした魅力づくりを推進します。
- スポーツ、芸術・文化等の多様な分野におけるツーリズム\*等を創出します。
- まちなかエリアの特性に応じた魅力の向上や、賑わいの創出等を推進します。

\* コンテンツ（参照 P51）

\* まちなか軸

新大工から浜町を経て大浦に至る、まちなかの各エリアをつなぐルート（基軸）。

\* 2つの世界遺産（参照 P47）

\* 世界新三大夜景

一般社団法人夜景コンベンション・ビューローの会員「夜景観光士」の投票により決定される、夜景を観光資源として活用している世界の三都市のこと。2021年11月19日に、モナコ・長崎・上海が認定された。

\* 日本新三大夜景

一般社団法人夜景コンベンション・ビューローの会員「夜景観光士」の投票により決定される、夜景を観光資源として活用している日本の三都市のこと。2018年に長崎市・札幌市・北九州市が認定された。

\* 2バース化（参照 P23）

\* 出島メッセ長崎（参照 P23）

\* ツーリズム

観光や旅行のこと。



## 関連するSDGs



## 関連する計画等

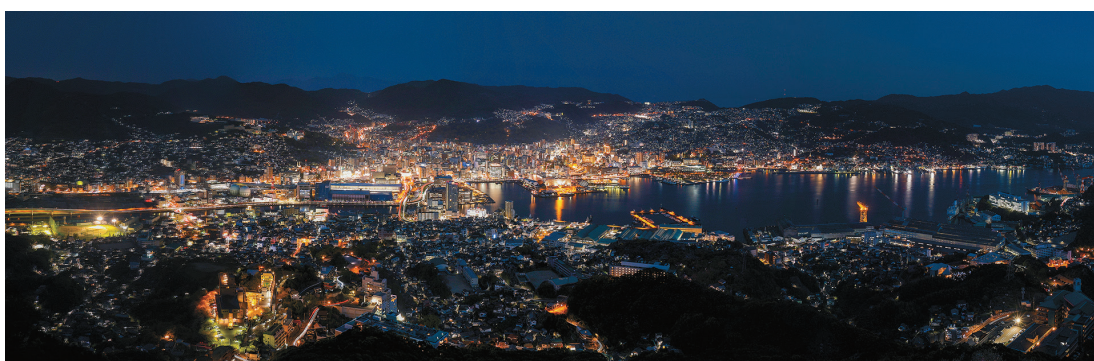
- 長崎市観光・MICE戦略
- 環長崎港夜間景観向上基本計画
- 長崎市歴史文化基本構想
- 長崎市新幹線開業アクションプラン
- 長崎市歴史的風致維持向上計画
- 長崎市中心市街地活性化基本計画



恐竜博物館外観



端島（軍艦島）



稲佐山夜景パノラマ

## 2025年度にめざす姿（なにか、どうなっている）

対象	意図
DMO*が	ターゲット毎のニーズに応じた情報を発信し、訪問客数が増加している。

## 現状分析と取組方針

### I うまくいっていること、強み、チャンス

- うまくいっていること**
  - DMOにおいて、マーケティングデータ等による継続的な訪問客のニーズの把握や分析を行う体制が整ってきている。
  - MICE\*誘致について、経済界、地元大学等と連携し、オール長崎による誘致活動が促進され、全国規模の学会、大会等の誘致が進んでいる。
- チャンス**
  - 様々な分野において、DX\*の取組みが加速することで、効果的な誘致活動が可能となる。

### II うまくいっていないこと、弱み、脅威

- うまくいっていないこと**
  - インバウンド\*のニーズに即した宿泊に繋がるコンテンツ\*の造成が不十分であり、宿泊者数が伸び悩んでいる。
- 脅威**
  - 新型コロナウイルス感染症等の影響により、国内観光客及びインバウンド客、MICE客数が減少している。
  - インバウンドについては、国際情勢等の影響に大きく左右されることもあり、宿泊者数が伸び悩んでいる。



### III 取組方針

#### ①戦略的な魅力発信

- 観光客の効果的な誘致の推進のため、マーケティングデータ等の継続的な収集と分析をもとに、DMOにおいて策定した長崎市DMO事業計画に基づき、ターゲットを見極め、国や地域、性別や年齢等に応じたコンテンツの造成と、デジタルマーケティング\*を強化します。
- 世界新三大夜景\*や2つの世界遺産\*等の長崎の魅力や旬な情報を、DMOが関係団体や事業者に対し発信することにより、新たな旅行商品造成や情報発信、誘客を促進します。

#### ②MICE誘致における連携強化

- 長崎市、DMO及び出島メッセ長崎\*の指定管理者である株式会社ながさきMICEの3者の連携を強化し、一元化したセールス情報に基づく戦略的な誘致活動を行います。

## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市観光・MICE戦略
- 長崎市DMO事業計画
- 長崎市新幹線開業アクションプラン



出島メッセ長崎（鳥瞰図）

\* DMO（参照 P24）  
 \* MICE（参照 P20）  
 \* DX（デジタルトランスフォーメーション）（参照 P38）  
 \* インバウンド（参照 P24）  
 \* コンテンツ（参照 P51）

\* デジタルマーケティング  
 ウェブサイトの閲覧履歴等から得られる情報を元に傾向や関心を分析する技術などを活用したマーケティング（商品を守るための仕組みづくり）のこと。  
 \* 2つの世界遺産（参照 P47）

\* 世界新三大夜景（参照 P52）  
 \* 出島メッセ長崎（参照 P23）

個別施策  
A2-3

## 交流のための都市機能を高め、安全安心・快適な滞在環境づくりを推進します

観光交流推進室

## 2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
全ての訪問客が	安全安心・快適に滞在できている。

## 現状分析と取組方針

## Ⅰ うまくいっていること、強み、チャンス

**うまくいっていること** ● 新型コロナウイルス感染症等の情勢の変化に応じた安全安心な滞在環境の整備を推進している。

**チャンス** ● 西九州新幹線の開業や長崎駅周辺の整備をはじめ、松が枝国際観光船埠頭の2バース化\*への動きなどの「『100年に一度』のまちの変革」が進んでいる。

● 「長崎スタジアムシティプロジェクト\*」などの民間主導による地方創生の動きが加速化している。

## Ⅱ うまくいっていないこと、弱み、脅威

**うまくいっていないこと** ● 案内板や駐車場の充実、バリアフリー対応などによる快適な滞在環境の整備が不十分である。  
● 観光客等へのアンケート結果によると「『長崎市』がもっと良い観光地になるために何を望まれますか。」の質問に対して「交通の便を良くする」ことが多くあげられるなど、交通アクセスの充実や周遊を楽しめる環境づくりができていない。

**弱み** ● 長崎空港の国際線の運航便数が少ない。

**脅威** ● 世界的な感染症の感染拡大や自然災害の影響により、今後も人の移動が制限されることが見込まれる。



## Ⅲ 取組方針

## ① 交流のための都市機能の向上

- 新型コロナウイルス感染症などの感染症や災害に対する安全安心な滞在環境づくりを引き続き行います。
- 公衆無線LAN\*環境の整備・運営や分かりやすい多言語表記・説明の充実を図り、訪日外国人観光客の受入環境を引き続き整備します。

## ② 安全安心で快適な滞在環境づくりの推進

- ユニバーサルデザイン\*の充実及びバリアフリー化を図り、ユニバーサルツーリズム\*を推進します。
- 周遊しやすい環境づくりのため、長崎駅に新たにつくる観光案内所の機能充実や、民間事業者と連携したICT\*の活用による交通案内・情報発信の強化を行うとともに、二次交通\*の充実を図ります。

\* 2バース化（参照 P23）

\* 長崎スタジアムシティプロジェクト（参照 P23）

\* 公衆無線LAN

不特定多数を対象とした無線によるインターネット接続を無料で提供するサービス。

\* ユニバーサルデザイン

障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう予め都市や生活環境をデザインする考え方。

\* ICT（参照 P24）

\* ユニバーサルツーリズム

高齢者、障害者、妊婦、外国人など、誰もが気兼ねなく楽しく参加できる旅行。

\* 二次交通

拠点となる鉄道駅等から目的地までの交通手段。路線バスや路面電車、タクシーなど。

## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市観光・MICE戦略
- 長崎市新幹線開業アクションプラン



検温（セーフティ対策）

## 2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
多様な関係者が	観光まちづくり*へ参画し、稼ぐ力が向上している。

## 現状分析と取組方針

### I うまくいっていること、強み、チャンス

- うまくいっていること**
  - DMO\*の専門人材を充実させたことで、観光まちづくりの舵取り役としての体制づくりが進んでいる。
  - MICEの開催によって生まれる様々な業務を地元事業者が受注し、地域経済の活性化につなげていくため、長崎MICE事業者ネットワーク\*を中心に「長崎MICEスクール\*」などを通じ、市内事業者がMICE関連業務を受注するためのスキルアップが図られている。
- チャンス**
  - 西九州新幹線の開業や松が枝国際観光船埠頭の2バース化\*への動きなどの「『100年に一度』のまちの変革」が進んでいる。
  - 「長崎スタジアムシティプロジェクト\*」などの民間主導による地方創生の動きが加速化している。

### II うまくいっていないこと、弱み、脅威

- うまくいっていないこと**
  - 経済界に対するDMO活動の情報共有と理解促進が不足しており、連携が図られていない。
  - 観光事業者以外の水産・農林事業者や市民に対し、DMOの取組みや成果の周知が不足しており、十分な理解が得られていない。
  - 観光客やMICE受入のためのDMOにおけるワンストップ機能が不十分である。
- 脅威**
  - 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内観光及びインバウンド\*客、MICE客数の大幅な減少がみられており、観光消費額等の落ち込みによる地域経済への悪影響が生じている。



### III 取組方針

#### ①観光客やMICE参加者等の周遊・滞在の促進による消費拡大

- 観光客やMICE参加者等の周遊・滞在を促進し、消費拡大を図るため、DMOや民間事業者と連携し、ユニークベニュー\*や体験プログラムを拡充します。
- DMOにおけるワンストップ機能を向上させるとともに、観光客やMICEの主催者・参加者ニーズに基づき、市内事業者の収益力向上につなげるための仕組みを確立させます。

#### ②観光まちづくりの推進体制強化

- DMOにおいて、マーケティングデータ等の分析結果や抽出した課題等を関係団体や事業者と共有することにより、観光まちづくりの推進体制を強化します。
- 観光まちづくりを発展的に進めるための持続的な財源となり得る、宿泊税の導入に向けた準備を進めます。

\* MICE (参照 P20)  
 \* 観光まちづくり (参照 P23)  
 \* DMO (参照 P24)  
 \* 長崎MICE事業者ネットワーク  
 MICE開催に伴って生まれる業務を地元事業者が受注し、地域経済の活性化につなげていくことを目的として設立された組織。

\* 長崎MICEスクール  
 市内の企業を対象に、ワークショップ形式の講座や先進都市の視察などを通してMICEビジネスについて学び、「稼ぐ力」をつけ、MICE関連業務を地元で受注し、地域で経済を循環させるため、(株)ふくおかフィナンシャルグループが実施したスクール。

\* 2バース化 (参照 P23)  
 \* 長崎スタジアムシティプロジェクト (参照 P23)  
 \* インバウンド (参照 P24)  
 \* ユニークベニュー (参照 P47)

## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市観光・MICE戦略
- 長崎市DMO事業計画
- 長崎市新幹線開業アクションプラン



孔子廟ユニークベニュー



釣り体験

# A3 国際性を豊かにします

国際課

## 2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
市民が	文化の違いを理解し、世界の人と活発に交流している。

## めざす姿を達成するための個別施策

- A3-1 国際交流・国際理解の機会の充実を図ります
- A3-2 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを進めます
- A3-3 留学先としての質の向上を図り、魅力を高めます

## 成果指標

成果指標	基準値	目標値
国際交流イベント・国際理解に係る講座への参加者数	3,653人 (R元年度)	4,060人 (R7年度)

## 関連するSDGs



ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ



外国人の日本文化体験

## 2025年度にめざす姿（なにか、どうなっている）

対 象	意 図
市民が	国際交流を体験し、国際的な理解を高めている。

## 現状分析と取組方針

### I うまくいっていること、強み、チャンス

- うまくいっていること**
  - 外国文化体験出前講座など、小・中学生の時期から異文化に対する関心・理解を深めるための機会を設定できている。
  - 国際交流員\*、外国語指導助手(A L T)を配置することで、異文化や言語に直接触れることができている。
  - 中学校卒業までに英検3級以上を取得もしくはそれ相当の英語力を有している生徒が増えている。(H27:37.9%→R 1:38.9%)
- 強み**
  - 中核市の中では、姉妹都市\*、市民友好都市\*として提携している都市数はトップクラスであり、それぞれの都市と様々な国際交流ができている。
- チャンス**
  - コロナ禍において、直接的な交流ができないなか、オンラインを活用した新たな手法による交流が生まれている。

### II うまくいっていないこと、弱み、脅威

- うまくいっていないこと**
  - 姉妹都市との青少年交流事業など、小人数しか参加できない事業の成果を幅広く普及させることができていない。
- 脅威**
  - コロナ禍において人の往来による直接的な交流ができていない。



### III 取組方針

#### ① 国際交流の機会と内容の充実

- 市民が気軽に、かつ、身近に国際交流を体験することができるよう、国際交流イベントの実施や国際交流員、A L Tとの協働などによって、交流や国際理解の機会を増やすとともに、新たな手法を含め内容を充実させます。

#### ② 姉妹都市等の情報提供と市民交流の支援等

- 姉妹都市、市民友好都市等との交流事業を実施するとともに、その成果も含めて姉妹都市等に関する情報を市民へ提供します。
- 新たな手法による交流の情報発信など、市民レベルでの主体的な国際交流について支援等を行います。

#### ③ 国際的に活躍できる人材の育成

- 幼少期から国際的な理解と多文化共生の認識を高める環境をつくることで、国際的に活躍できる人材を育てます。

#### \* 国際交流員

地域の国際化の向上を目的として、地方公共団体の協同組織である一般財団法人自治体国際化協会が、総務省、外務省、文部科学省の協力のもと実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」によって招致した外国青年の一職種。  
長崎市では英語圏、韓国、中国の国際交流員を任用している。主な業務は翻訳、通訳、国際理解講座の開催、外国人住民の支援、外国人観光客への対応等である。

#### \* 姉妹都市

相互の地域の発展と国際的な友好親善等を目的として結ばれた都市。両首長による提携書があること、交流分野が特定のものに限られていないこと、議会の承認を得ることが要件となっている。  
セントポール市（アメリカ）、サントス市（ブラジル）、ポルト市（ポルトガル）、福州市（中国）、ヴォスロール村（フランス）、ライデン市（オランダ）

#### \* 市民友好都市

姉妹都市提携等の形式にとらわれず、自由気軽に付き合え、市民や民間交流団体が主体となって実質的な交流を行うことを相互に意思確認した都市。民間交流を更に促進するためのもの。  
アバディーン市（イギリス）、中山市（中国）、ヴェルツブルク市（ドイツ）



## 関連するSDGs



## 関連する計画等

- 長崎市教育大綱



外国文化体験出前講座（韓国）



子ども夢体験

2025年度にめざす姿（なにか、どうなっている）

対 象	意 図
外国人住民が	暮らしやすい環境になっている。

現状分析と取組方針

I うまくいっていること、強み、チャンス

うまくいっていること

- 冊子やホームページを通じて、外国人住民が生活に必要な情報を容易に得られるようになっている。
- 行政手続きや暮らしの情報、災害に備えるための情報などは、国際交流員\*による英語、中国語、韓国語の多言語表記が進んでいる。
- 「やさしい日本語\*」を活用することで、英語・中国語・韓国語が母語でない外国人住民にも分かりやすい情報提供ができています。
- 初級日本語講座など、国際ボランティア\*による外国人の生活支援のための活動を行っている。

II うまくいっていないこと、弱み、脅威

うまくいっていないこと

- 外国人の多様化が進み、必要とされる言語などのニーズの把握と対応が難しい。
- 外国人と接する機会がある市民等に「やさしい日本語」の周知・普及をさらに行う必要がある。



III 取組方針

① 多言語による情報提供の充実

- 外国人住民の生活利便性を高めるため、「やさしい日本語」の活用やSNS\*などを利用した多言語による情報提供を充実させます。

② 生活支援と市民との交流機会の充実

- 言語面からの生活支援としての日本語講座の実施や、市民と外国人住民が異なる文化や習慣をお互いに理解しあうことが出来るよう、交流できる機会の提供・支援を行います。

関連するSDGs



初級日本語講座



多言語チラシによる情報発信

\* 国際交流員（参照 P60）

\* やさしい日本語

難しい言葉や専門用語をやさしい言葉に言い換えるなど、相手に配慮してわかりやすく表現された日本語。外国人だけでなく、高齢者・子ども・障害を持った人などにもわかりやすく伝えることができる。

\* 国際ボランティア

外国人住民を支援し、長崎市の国際化を推進する目的で活動する市民ボランティア制度。外国人住民に生活に必要な初級の日常日本語会話のクラスの指導を行う「日本語講座ボランティア」、子ども向けの英語あそびや日本文化の紹介等の国際交流イベントを企画・

実施する「企画ボランティア」、本市の業務支援（国際交流イベントや市の業務の説明等）にかかる通訳（英語・中国語・韓国語）を行う「通訳ボランティア」がある。

\* SNS（参照 P16）

2025年度にめざす姿（なにが、どうなっている）

対 象	意 図
外国人留学生が	長崎留学の魅力を見出すとともに、充実した留学生活を送っている。

現状分析と取組方針

I うまくいっていること、強み、チャンス

うまくいっていること

- 長崎留学生支援センター\*を中心として、産学官が一体となった効果的な留学生の各種支援に取り組んでいる。
- 市有施設の入場料等の免除や平和大学\*の開催などにより、多くの留学生に長崎の歴史・文化に触れる機会を提供できている。

II うまくいっていないこと、弱み、脅威

脅威

- 就職支援や多言語による情報発信など、留学生の状況に応じて必要とされる取組みが多様化している。
- コロナ禍において、新たな留学生の来日が制限されるとともに、留学生がアルバイトの雇止めなどによる収入減により長崎での生活に大きな影響を受けている。



III 取組方針

①産学官が一体となった各種支援策への一元的な取組み

- 長崎留学生支援センターを中心に産学官が一体となって、留学生のニーズに応じた各種支援の取組みを進めます。

②外国人留学生との協働

- 留学生が自らの力を活かすことができるとともに、市民の異文化理解や多文化共生にも寄与するよう、様々な機会をとらえ留学生との協働に取り組めます。

関連するSDGs



長崎留学生支援センター  
(留学生と企業の交流会)



長崎平和大学における被爆体験講話

\* 長崎留学生支援センター

長崎県内の産官学の連携により開設された留学生の支援のための機関。長崎地域における留学生の募集・広報、就職、生活を支援するとともに、留学生の力を活用し、地域の活性化や観光振興に貢献することを目的としている。

\* 平和大学

長崎市、長崎県、長崎留学生支援センターが連携し、県内在住の留学生や市民を対象に、原爆資料館や被爆遺構巡り、被爆体験講話等を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ機会を提供するイベント。平和に対する意識醸成を図るとともに、母国に対する長崎の情報発信を促すことを目的としている。

